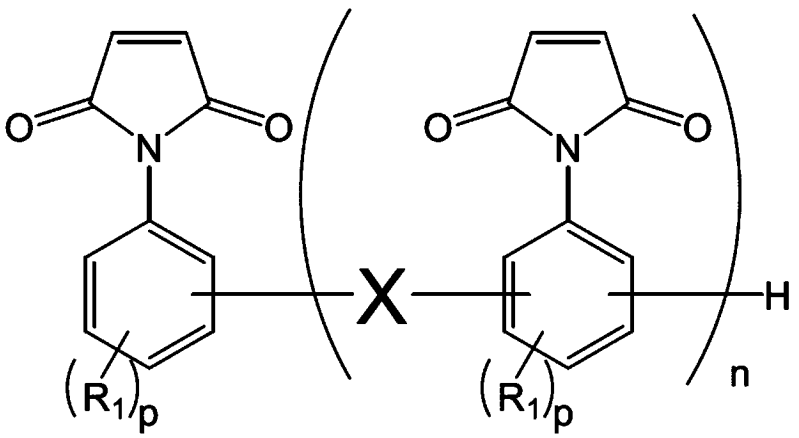
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和5年9月21日(2023.9.21)

【国際公開番号】WO2023/063267
【出願番号】特願2022-580898(P2022-580898)
【国際特許分類】
*C08G 73/00(2006.01)*
*C08K 3/013(2018.01)*
*C08L 65/00(2006.01)*
【ＦＩ】
C08G 73/00
C08K 3/013
C08L 65/00

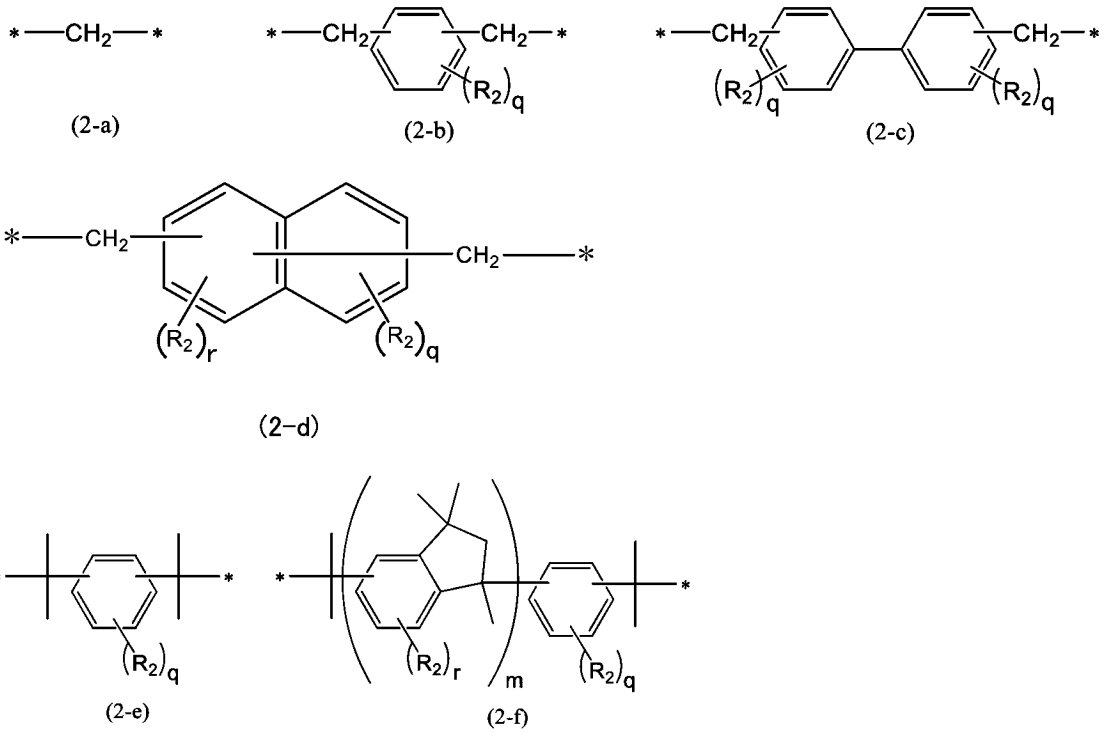
【手続補正書】
【提出日】令和4年12月27日(2022.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（１）で表されるマレイミド樹脂（Ａ）、下記式（３）で表される２官能シアネート樹脂（Ｂ）からなるマレイミド樹脂混合物であって、
前記マレイミド樹脂（Ａ）と前記２官能シアネート樹脂（Ｂ）の樹脂総量１００重量％に対して、前記マレイミド樹脂（Ａ）を５５～９５重量％含有する封止材用マレイミド樹脂混合物。
【化１】



(1)

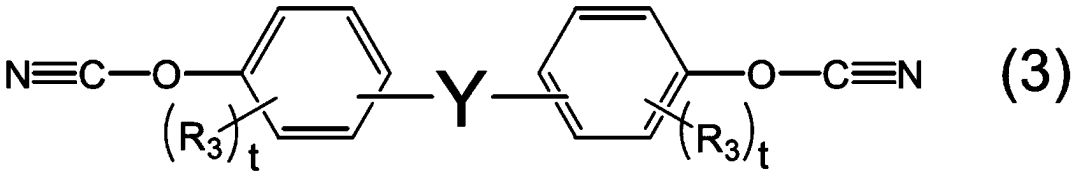
（式（１）中、Ｘはそれぞれ独立して下記式（２－ａ）～（２－ｆ）で表される構造のいずれか１種を表す。$R_1$はそれぞれ独立して水素原子、炭素数１～２０のアルキル基、または置換基を有しても良い炭素数１～２０の芳香族基を表し、ｐはそれぞれ独立して１～３の整数を表す。ｎは繰り返し数であり、ｎの平均値$n_{ave}$は$1 < n_{ave} < 10$である。）

【化２】




（式（２－ａ）～式（２－ｆ）中、＊はベンゼン環への結合を表す。Ｒ２はそれぞれ独立して水素原子、炭素数１～２０のアルキル基、または置換基を有しても良い炭素数１～２０の芳香族基を表し、ｍは１～５０の整数を表し、ｑはそれぞれ独立して１～４の整数を表し、ｒはそれぞれ独立して１～３の整数を表す。式（２－ｄ）の右側のメチレン基は、ナフタレン環の１～８位の任意の位置に結合する。）

【化３】



（式（３）中、Ｙは直接結合、－ＣＨ２－、－ＣＨ（ＣＨ３）－、－Ｃ（ＣＨ３）２－のいずれかを表し、Ｒ３はそれぞれ独立して水素原子、炭素数１～２０のアルキル基、置換基を有しても良い炭素数１～２０の芳香族基を表し、ｔはそれぞれ独立して１～４の整数を表す。）

【請求項２】

コーン・プレート粘度計で測定した１５０℃における溶融粘度が０．００１～０．９Ｐａ・ｓである請求項１に記載の封止材用マレイミド樹脂混合物。

【請求項３】

軟化点が４０～１１０℃である請求項１又は２に記載の封止材用マレイミド樹脂混合物。

【請求項４】

２５℃においてアモルファス状である請求項１～３のいずれか一項に記載の封止材用マレイミド樹脂混合物。

【請求項５】

請求項１～４のいずれか一項に記載のマレイミド樹脂混合物を含有する封止材用マレイミド樹脂組成物であって、

前記式（１）中、Ｘはそれぞれ独立して前記式（２－ｂ）～（２－ｆ）で表される構造のいずれか１種である、封止材用マレイミド樹脂組成物。

【請求項６】

更に、硬化剤（Ｃ）を含有する請求項５に記載の封止材用マレイミド樹脂組成物。

【請求項７】

更に、硬化促進剤（Ｄ）を含有する請求項５又は６に記載の封止材用マレイミド樹脂組成物。

【請求項８】

更に、無機充填剤（Ｅ）を含有する請求項５～７のいずれか１項に記載の封止材用マレイミド樹脂組成物。

【請求項９】

請求項１～４のいずれか一項に記載の封止材用マレイミド樹脂混合物、または請求項５～８のいずれか一項に記載の封止材用マレイミド樹脂組成物を硬化してなる硬化物。